

# まちかど

# アルバム

## 感動 色鮮やかな仕上がりに

尚徳町

3月24日(土)、とりぎん文化会館のフリースペースで、エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin鳥取のイベント「砂上のインフィオラータ」が行われました。インフィオラータとはイタリア語で「花を敷きつめる」という意味。この日は、友達や家族連れなど約70人参加し、赤、白、黄色など、約一万本のバラの花びらを用いて大きな絵を制作しました。



講師は、藤川靖彦さんと、白井貴子さん。中国地方では初めての制作でしたが、インフィオラータの由来や作業の進め方をていねいに説明しながら、参加者とふれあいました。一万本の花束から、花びらだけを摘み取る作業や、細かいすき間を埋めることはとても根気がいるものですが、色鮮やかな仕上がりは感動的で、「何とか完成してよかった」と、喜びもひとしおでした。初めは知らない人同士でしたが、制作を通して交流が深まり、「友達が増えて作る以外にも楽しめました」と、有意義な時間となったようです。



完成してよかった」と、喜びもひとしおでした。初めは知らない人同士でしたが、制作を通して交流が深まり、「友達が増えて作る以外にも楽しめました」と、有意義な時間となったようです。

## スリル満点の川下り体験

用瀬町用瀬

3月18日(日)、用瀬町内の千代川で、ラフトボートに乗って川下りを体験する「春の川遊びフェスティバル」が行われ、家族連れなど約50人が参加。自然を満喫しながら千代川一の急流を約1km下り、スリル満点の川下りを楽しみました。今年は大雪の影響で水量も例年より多く、絶好のラフティング日和。参加者は波に揺られ、時には、くると回りながら流しびなになった気分を味わいました。落差が1m近くある岩場に進入すると、ボートが大きく揺すられるたびに「キヤーツ」と歓声をあげていました。



## 5・6歳の大記録に挑戦

気高町浜村

3月17日(土)、気高町中央公民館で22人の子どもたちがジャンボ巻き寿司づくりに挑戦しました。子どもたちは地元のお寿司屋さんの指導を受けながら、慎重に並べた海苔の上に酢飯を広げ、卵焼き、高野豆腐などたくさんの具をトッピング。「セーの」の掛け声に合わせて一斉に巻くと、長さ5m、60センチの巻き寿司が出来上がりました。子どもたちは、20センチほどに切られた巻き寿司に笑顔でかぶりつき、地元の食材で作ったお汁と一緒に「おいしい」と言いながら味わいました。記録はさることながらお腹も大満足な一日となりました。





## 観光客のお出迎え準備

福部町湯山

4月8日(日)、今年1回目の鳥取砂丘一斉清掃が行われました。今年は例年より早い実施でしたが、家族連れや職場の同僚など、各地から約4000人が参加。大きな浮きや流木を運ぶ人がいたり、どちらが多くゴミを集めるかを競争する子どもがいたり、それぞれがゴミ拾いに熱心に取り組みました。今回は、可燃ゴミ・不燃ゴミ合わせて1100袋、約1トンのゴミを回収。鳥取市を代表する観光地をきれいにし、砂の美術館の開館と行楽シーズンの到来を前に、観光客をお出迎えする準備が整いました。

## 待ちに待った春の訪れ

東町二丁目

4月12日(木)、鳥取市内の桜がようやくよく見ごろを迎えました。この日は、前日の雨とは打って変わって好天に恵まれ、日中は汗ばむくらいの陽気。ソメイヨシノの標準木がある久松公園には、親子連れや、昼休憩を利用して散歩に出かける人などでにぎわいました。お弁当を広げてお花見をしたり、カメラでの撮影を楽しんだり、それぞれが春の訪れを感じながら期間限定の景色を楽しんでいました。今年の標準木は、例年より3日遅い満開。「冬が長かったから嬉しいです」と、喜びの声が聞かれました。



## 目指せ！プロ野球選手

河原町山手

4月1日(日)、河原町総合運動場で、元阪神タイガース投手の弓長起浩さんゆみながたけひろによる野球教室が行われ、西郷少年野球クラブの22人が参加しました。子どもたちは、元プロ野球選手からの直接指導に真剣な表情。打球や打撃、守備などの技術指導や、野球の楽しさなどを教わり、「どうしたら速い球が投げられますか」など、熱心に質問しながら練習に励みました。練習後には全員で記念撮影を行い、一人ひとりがサインをもらうと、子どもたちは感激していました。あこがれのプロ野球選手を目指し、練習に一層熱が入ります。

## 定例のお袋市がスタート

栄町

3月25日(日)、鳥取駅前サンロードで、「いなばのお袋市」が開催されました。これは、毎月第4日曜日に開かれる朝市ですが、路面の舗装工事が行われたため、3カ月ぶりの開催。久しぶりに集まった商店の人たちと訪れたお客様たちは「今年もよろしくお願います」と、少し遅めの新年のあいさつを交わっていました。気温が低く、みぞれが混じる天候の中でしたが、訪れた人たちは温かい朝定食やホクホクのコロッケなどに舌鼓。暖かくなるにつれて一層にぎわってほしいと期待を寄せていました。